

一般質問

- ・令和7年度一般質問の総括(小中学校の再編・使用済み核燃料税の導入・保育所待機児童)について
- ・観光事業について



高田和幸

問

令和7年度に一般質問をした事項の現状について伺います。御前崎中学校の将来について今後の進め方は

答

今年7月より勉強会やグループワーク、広聴会を開催し、地域や保護者等関係者の意見を聞きながら、今年度末までに学校のあり方についての方向性の案を提示する予定です。その後、丁寧に議論し決断する必要があると認識しております。

問

使用済み核燃料税の導入についての考えは

答

1月の中部電力の地震動不正取扱い問題により、使用済み核燃料保管の長期化が懸念されることから、使用済み核燃料税の導入について検討すべきではと申し上げました。導入までに時間を要する内容ですので、丁寧に進めていきたいと思えます。

問

こども園等での保育は、保育士と児童・保護者との人間関係の上に成り立っています。人間関係が壊れて転園を希望する

問

保護者がいても、保育士不足で転園が不可能との話を聞きます。保護者に寄り添う児童福祉を望むがいかがか

答

児童福祉を充実させていきたいという気持ちは非常に強く思っています。公立園、民間園の区別なく市内全体の保育資源を有効に活用しながら、保護者が安心して子どもを預けられる環境の確保に努めます。

問

広沢海岸で行われるサーフィン大会等へ支援することで、市のPRや観光につながると思うがいかがか

答

大会運営の環境向上に向けて、費用対効果や財政状況を踏まえながら、実施可能な範囲で対応を検討しています。官民が連携してイベントを行うことが持続可能な形であると考えます。今後、それぞれの役割を果たし、官民一体となってサーフィン大会等のイベントを盛り上げ、本市の魅力発信と地域活性化につなげていきます。

一般質問

- ・池新田高校存続に向けた取り組みについて
- ・海岸防災林の整備について



村田明彦

問

創立百年を超える県立池新田高等学校に対する市長の思い、現在の状況認識と将来についての考えを伺う

答

池新田高校は、輝かしい歴史と伝統を誇り、本市のみならず、この地域全体の発展を支え、多大な人材を輩出してきた「郷土の誇り」であると認識しています。一方で少子化により、定員充足率は極めて厳しい状況と捉えています。池新田高校の存続の問題は本市にとっても注視すべき課題と考えています。

問

かつて、静岡県教育委員会による高校再編の話が浮上したが、池新田高校の統廃合の話は現在どのような状況か伺う

答

現在、具体的な統廃合の計画に盛り込まれておりませんが、今後については再び判断を許さない状況が考えられます。市としても引き続き地域連携を強化していきます。

問

海岸防災林について、御前崎市国土強靱化地域計画の

問

中でどのような検討がされ、整備計画や管理の強化策があるのか伺う

答

海岸防災林の保全は、市民の生命、財産を守る重要な役割を担っていると認識しています。御前崎市国土強靱化地域計画により、ハード・ソフト両面での対策を進めています。

問

過日、中央官庁に提出した要請の図面において、現在検討箇所として、国道150号南側の森林を記し、要請を行った見解を伺う

答

提出した要請書に記載の該区域に指定されており、現在内閣府に対し、施設の設置場所として適切か確認を進めているところであります。内閣府より、要綱上当てはめるのは難しいとの見解を口頭でいただいている状況であり、本市としてもその点は配慮すべきことであると認識しています。

設置場所については、今後、議会とも協議のうえ、慎重に決定してまいります。